

# 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部
1 -	生涯学習や文化芸術活動の環境を充実する	市民部、社会教育部

## 所管事業に関連する成果指標

指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
各種講座・講習会への参加者数（年間）	人	46,836	10,956	20,020			49,400
博物館・美術館の特別展の観覧者数（年間）	人	198,813	28,859	96,093			142,300

## 関連事業

囲碁文化振興事業 文化芸術ホール開館準備事業 無形文化財保護事業 多様な学習推進事業  
 地域の人材発掘・活用事業 地区公民館整備事業 電子図書館事業 博物館特別展事業 博物館教育普及活動推進事業 魅力ある美術展覧会事業 美術教育の普及・体験事業

## 決算額

	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費(千円)	163,824	440,761		
執行率(%)	61.16	92.68		

## 施策の推進に向けた主な取組の「成果」

### 「公民館における生涯学習の推進」

コロナ危機で学びを止めないことの重要性が多くの人に共有されたことから、制限下においても感染症対策を講じながら、学習事業を展開しました。シニア学級ではデジタルデバイトの解消が図れるよう、全地区公民館でスマートフォンセミナーを開催するなど、現代的課題・生活課題等を取り上げ、多様な学習機会を提供しました。

### 「博物館・美術館の取組」

新型コロナウイルス感染症防止対策を実施しながら、博物館では、「平塚空襲 その時、それまで、それから」、「神奈川の大地 1億年の記憶」、「掘り起こされた平塚姿をあらわす遺跡たち」の3回の特別展と「第21回博物館文化祭」を開催した他、体験学習や講座、プラネタリウム、ワーキンググループ活動を積極的に進め、郷土への愛着を醸成する学習機会の充実を図りました。美術館では、開館30周年を記念し、「荒井寿一コレクション 川瀬巴水展」、「The Gift 寄贈をうけた作品選+新収蔵品展」、

「studio COOCA のパッパラパラダイス 2021 - これがとってもとくいです - 展」等を開催したほか、「湘南の日本画 院展、創画会の作家を中心に」等を合わせ7回の展覧会を開催しました。また、美術教育普及活動を推進するため、ワークショップ等を44回開催しました。

「地域の特色ある文化資源（無形文化財）の活用」

「第45回ひらつか民俗芸能まつり」を感染症対策を徹底した上で開催し、守り伝えられてきた郷土の民俗芸能を披露しました。また、演技指導者の派遣を行い、座員の技術向上を図りました。

「地域の特色ある文化資源（囲碁）の活用」

平塚市まちづくり財団と連携し、女流棋聖戦の誘致、子ども対象囲碁教室等、各種イベントを実施しました。

「平塚文化芸術ホールの開館準備」

供用開始に向け、指定管理者等との各種協議を実施し、令和4年3月26日に平塚文化芸術ホールを開館しました。また、開館記念イベントを実施しました。

「地区公民館の整備・建設」

吉沢公民館を建て替え、令和3年6月に供用を開始しました。また、生涯学習活動及び地域活動を推進するため、四之宮公民館の建て替えにあたり、基本設計を進めました。

施策を推進する上での「課題」

「公民館における生涯学習の推進」  
社会情勢や市民ニーズの把握に努め、年齢層や地域課題にあった講座を展開する必要があります。また、学びが継続するよう、課題に取り組む意欲を高める必要があります。

「博物館・美術館の取組」  
「新しい生活様式」に則った館運営に努めながら、地域の自然と文化や美術に対する関心を高めてもらうため観覧者数等を増やす必要があります。

課題解決を図るための「取組方針」

「公民館における生涯学習の推進」  
公民館運営委員会の意見を伺いながら、社会情勢や市民ニーズの把握に努めます。また、課題を自分事と捉えられる人材や意識を育てるため、ESDの取組を意識した事業を展開していきます。

「博物館・美術館の取組」  
新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、博物館では、特別展やプラネタリウム、普及体験事業を開催するとともに、電子展示システムを導入し常設展示情報の拡充を図ります。更に、魅力あるWebコンテンツの開発に引き続き注力し、地域の自然や文化に関する市民の知的欲求に

「地域の特色ある文化資源（無形文化財）の活用」

無形文化財（郷土芸能）保持者の高齢化や継承者の減少に対応するため、新たな後継者の確保や育成が必要です。

「地域の特色ある文化資源（囲碁）の活用」

囲碁文化の更なる普及振興を図るために、これまでの事業の実施状況などを踏まえ、事業実施やPR方法を工夫する必要があります。また、囲碁文化の担い手となる人材確保及び育成が必要です。

「平塚文化芸術ホールの開館準備」

本事業は令和3年度で終了となりますが、令和4年度から新規事業となる「平塚文化芸術ホール管理運営事業」においても、市民に親しまれる文化芸術拠点及び中心市街地や市内外に広がるような賑わい拠点を目指す必要があります。

「地区公民館の整備・建設」

生涯学習活動及び地域活動を推進するため、老朽化や経年劣化した公民館を整備・改修する必要があります。

応えてまいります。美術館では、市民の美術に対する知識が向上するよう、優れた美術を鑑賞する機会の充実に努めます。また、ワークショップ等を開催し、幅広い年齢層の方が気軽に美術活動に取り組める機会を提供します。

「地域の特色ある文化資源（無形文化財）の活用」

後継者育成のため、演技指導者の派遣を行うとともに、公演の機会を提供し、演技技術の維持向上を図ります。また、他事業と連携して子どもたちへの体験事業などを行います。

「地域の特色ある文化資源（囲碁）の活用」

平塚市まちづくり財団と協力し、囲碁に触れ親しむ方の増加や棋力強化につながる教室などの事業を継続するほか、普及振興を担う人材育成等に取り組みます。

「平塚文化芸術ホールの開館準備」

文化芸術ホール開館後の管理・運営について、継続して指定管理者、平塚市まちづくり財団等との各種協議を進めます。開館後は、指定管理者による維持管理・運営業務を行います。様々な文化芸術に触れる機会を作る文化芸術拠点、また、多くの交流が生まれる賑わい拠点を目指します。

「地区公民館の整備・建設」

個別施設計画に沿って、老朽化や経年劣化した公民館を順次整備・改修していきます。